



●巨大な自然石で構築された「弁慶の窟屋」と呼ばれる古墳(県史跡指定・6世紀後半)  
●4世紀末期に造られた前山古墳、東側の丘陵からは埴輪も出土

# 「小松島の歴史」

さまざまな自然条件に恵まれたこの地には、早くから高い文化をもった人々が居住し、海の方への近畿圏と深い関わりを持ちながら歴史を刻んできた。

# 小松島 時間旅行

小松島らしさの創造と継承

市制60周年記念●小松島市勢要覧2011●ダイジェスト版

## 小松島時間旅行

発行日●平成23年6月  
発行●徳島県小松島市横須町1番1号  
TEL 0885-32-2111 FAX 0885-33-3253  
企画編集●小松島市総務課  
制作●株式会社きょうせい



## KOMATSUSHIMA Time Trip Creation and Succession of Appeal as KOMATSUSHIMA

小松島市は、昭和26年6月1日の市制施行以来、豊かな自然環境と四国屈指の天然の良港・小松島港を背景に、港湾都市として発展してきました。今年で60周年という節目を迎えることができましたのも、先人各位のご努力はもとより、市民の皆様のおかげで、みなご尽力の賜物であると心から感謝申し上げます。  
しかしながら、近年、少子高齢化・国際化・高度情報化などの急速な進展に伴い、地方自治体を取り巻く環境は大きな転換期を迎えており、市民ニーズも多様多様化しております。こうした時代の変化をふまえて策定した「小松島市第5次総合計画」を平成21年度からスタートさせ、目標とする都市像である「安全・安心・信頼のこまつしま」の実現に向けて、市民の皆様との積極的な市政への参加と協働によるまちづくりに全力で取り組んでおります。  
この要覧をご覧になる皆様におかれましては、私たちのまち小松島の歴史と文化、そして魅力を知っていただきますとともに、市政発展のためにより一層のご理解とご協力をお願いいたします。

Komatsushima City, since its municipal government was enforced on June 1, 1951, has been developed and evolved as a bay area city against the backdrop of its rich natural resources and the Komatsushima Harbor, one of the best natural harbors in Shikoku.

The 60th anniversary of the city is marked this year, thanks to the persistent efforts of our predecessors and all the citizens.

In recent years, however, the environment surrounding the local governments has been changed, because of the rapid-paced demographic aging combined with low birth rate, advance of internationalization, informatization, as well as of the increasingly diversifying social needs. Based on these changes, "The 5th Komatsushima's Comprehensive City Plan" was launched in fiscal year 2009, aiming to build "a city of security, safety and reliability", and is in progress in the cooperation with the citizens.

This directory is published to convey the rich history and culture of Komatsushima, which would attract the readers and promote their understanding toward the city. We hope to have your continuous cooperation in order to achieve development of the city.

June 2011

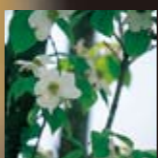
### INFORMATION



**市章** the Official Emblem  
中央に小松島市の頭文字「小」を据え、その周りを鐘の図案で囲み、港湾都市小松島の発展を象徴的に表現したものです。昭和9年5月に町章として制定されたものを市章として今日も受け継いでいます。



**市の木【やまもも】** the Official Tree: bayberry  
常緑樹で年中青々と茂り、初夏には深紅の実をつけ、その甘ずっぱい味覚で市民に親しまれており、小松島市の限りの躍進と情熱を象徴しています。(昭和63年2月15日制定)



**市の花【花みずき】** the Official Flower: flowering dogwood  
ミズキ科の落葉小高木。春には白またはピンクのかわいい花弁をつけ、秋には深紅色に紅葉し、市民の目を惹きつけてくれます。かれんな花弁が和と発展を象徴しています。(昭和63年2月15日制定)



**市推奨の魚【鱧】** the Official Recommended fish: conger myriaster  
鱧が生息している小松島市の紀伊水道には、栄養豊かな水質や泥があり、関西圏で食べられている鱧のほとんどが徳島産となっています。小松島市の鱧は、県外から訪れる観光客の味覚を満足させる重要な観光資源の一つになっています。(平成22年5月21日推奨)

### 小松島市の概要

小松島市は、徳島県の東部に位置する臨海都市。徳島市、阿南市、勝浦町に囲まれ、紀伊水道を隔てて和歌山県に面している。街の中心は市の北部で、その中央を神田瀬川が流れ小松島湾に注ぎ、東南部には肥沃な平野が広がる。気候は温暖で、冬でも積雪はきわめて希で、夏は熱帯なみの暑さである。東経134°35'4"、北緯34°00'1"、面積45.30km<sup>2</sup>、人口41,477人(平成22年12月1日現在)。昭和26年市制施行、31年に坂野町を編入し現在に至る。

Komatsushima is a coastal city born in 1951(Showa 26), and is located in the east part of Tokushima Prefecture. The climate is mild, but it gets as hot here as in the tropics in the summer. It covers an area of 45.30km<sup>2</sup>, and contains a population of 41,477 (As of December 1).

# 義経率いる 平氏追討軍の足跡を 追って

In this district, with a variety of natural environment, highly cultured people have inhabited since its early days; and have molded history, having close connection with the Kinki region beyond the sea. One of the most famous events in its history is that Yoshitsune Minamoto, a military commander, disembarked the district in order to hunt down and kill the Heike troops that escaped to Yashima, at the times of the battles of the Genji and the Heike clans. Komatsushima city in Edo era flourished as a commercial and financial center in Awa province, where the agricultural industry grew owing to developed newly reclaimed rice fields, and wealthy stores stood side by side in the port.

寿永4年(1185)2月18日、屋島に逃れた平家軍追討のため、源義経軍は風雨をついて阿波の国勝浦(現在の小松島市)に上陸。当地を駆け抜け屋島へと向かった。



●旗山、源義経はこの山の山頂に源氏の白旗を掲げ兵士の士気を高めた ●「中王子神社」義経軍はこの付近から勝浦川を渡り熊山城を攻めた  
●義経上陸の地、義経軍は暴風雨をついて紀淡海峡を南下し勝浦に上陸した ●義経上陸の際、手兵30余騎で屋島へ先陣した近藤六藏家の居城「新居見城跡」  
●小松島の浜に着陣した義経軍が軍船を繋ぎ合わせた場所と伝えられる「勢合」 ●宇治川先陣争いをした名馬「池月」が倒れて石に化すとされる「天馬石」

親家を先導役に、現在の小松島市を横断して土佐街道を北へ進み、夜を徹して国境の時を越えて翌日は屋島の平家軍を背後から攻撃したとされています。  
義経が屋島に向かって進軍した経路は現在「義経街道」と呼ばれ、義経ゆかりの地を結ぶ約十キロメートルの「義経ドリーヴロード」として史跡やロマンを求める人々を惹きつけています。付近には、義経にまつわる伝説の場所が多く残され、平成三年には、義経が源氏の白旗を掲げたとされる「旗山」の山頂に日本一の高さを誇る義経騎馬像が完成し、小松島市の新しいシンボルとなっています。  
近世、蜂須賀氏入国後の小松島は、新田開発が次々と行われ農業が発達し、小松島浦には徳島藩の直轄地となる集落が形成され、紺屋や藍商などの商家が並び、当時の商業や金融の中心として栄えました。明治以降も小松島港を中心に着実に発展を続け、昭和二十六年(一九五二)当県下最大の町であった小松島町と立江町が合併して、現在の小松島市が誕生しました。

- 昭和63年(1988) ●本松島西高校選抜野球大会初出場(市の花木制定)
- 平成元年(1989) ●小松島市市協合併
- 平成2年(1990) ●小松島市市協合併
- 平成3年(1991) ●赤石町下志津開港(及人代官) ●観音堂(馬場建立)
- 平成4年(1992) ●武田道安(徳島藩) ●市庁舎(新築)
- 平成5年(1993) ●市協合併(徳島藩) ●市庁舎(新築)
- 平成6年(1994) ●市協合併(徳島藩) ●市庁舎(新築)
- 平成7年(1995) ●市協合併(徳島藩) ●市庁舎(新築)
- 平成8年(1996) ●市協合併(徳島藩) ●市庁舎(新築)
- 平成9年(1997) ●市協合併(徳島藩) ●市庁舎(新築)
- 平成10年(1998) ●市協合併(徳島藩) ●市庁舎(新築)
- 平成11年(1999) ●市協合併(徳島藩) ●市庁舎(新築)
- 平成12年(2000) ●市協合併(徳島藩) ●市庁舎(新築)
- 平成13年(2001) ●市協合併(徳島藩) ●市庁舎(新築)
- 平成14年(2002) ●市協合併(徳島藩) ●市庁舎(新築)
- 平成15年(2003) ●市協合併(徳島藩) ●市庁舎(新築)
- 平成16年(2004) ●市協合併(徳島藩) ●市庁舎(新築)
- 平成17年(2005) ●市協合併(徳島藩) ●市庁舎(新築)
- 平成18年(2006) ●市協合併(徳島藩) ●市庁舎(新築)
- 平成19年(2007) ●市協合併(徳島藩) ●市庁舎(新築)
- 平成20年(2008) ●市協合併(徳島藩) ●市庁舎(新築)
- 平成21年(2009) ●市協合併(徳島藩) ●市庁舎(新築)
- 平成22年(2010) ●市協合併(徳島藩) ●市庁舎(新築)

小松島の市域には、弥生時代からすでに人々が居住し、古代から数多くの荘園が置かれていました。一説には、その中に京都小松郷にあつた仁和寺の由来であるといわれ、他にも、源義経が上陸したとき松に駒をつないだコマツナギ島、勝浦川の三角州(小松の島)に由来するとい説もあります。小松島の地名が文献に登場するのは鎌倉時代から、小松島の船が瀬戸内海で活躍していた様子が伝えられています。  
中世、源平争乱の時代に源義経が当地に上陸したことは有名で、丁谷の戦いで敗れて讃岐屋島に逃れた平家軍追討のため、寿永四年(二八五二)二月十七日、義経は五〇余騎の精兵を率いて、摂津渡部の津(今の大阪市堂島)から暴風雨の中を、千隻の船で漕ぎ出し、翌十八日の早朝、阿波の国勝浦(現在の小松島市)に漂着しました。ただちに地元の新居見城主近藤六

- 小松島市略年表
- 昭和26年(1951) ●重要港湾指定 ●中央高校開校 ●立江町と合併 ●小松島市誕生
- 昭和27年(1952) ●上水道通水開始
- 昭和28年(1953) ●市庁舎完成 ●第1回国体開催
- 昭和29年(1954) ●小松島港物産博覧会開催 ●小松島警察署発足 ●小松島保健所開設
- 昭和30年(1955) ●坂野町編入 ●和歌山航路開設
- 昭和31年(1956) ●坂野町編入 ●和歌山航路開設
- 昭和32年(1957) ●上水道事業併用 ●阿波航路開設
- 昭和33年(1958) ●南海丸沈没遭難事故
- 昭和34年(1959) ●福祉協議会発足
- 昭和35年(1960) ●小松島港1万トン岸壁完成 ●国民健康保険開始
- 昭和36年(1961) ●第2至戸台風襲来 ●芝生ごみ焼却場完成 ●神戸輸物防衛所小松島出張所開設
- 昭和37年(1962) ●新産業部指定 ●南海丸1号航路開始
- 昭和38年(1963) ●小松島航空隊開隊 ●鉄鋼団地造成完成
- 昭和39年(1964) ●高松入管小松島事務所開設
- 昭和40年(1965) ●山陽国東ハルズ ●市役所庁舎完成
- 昭和41年(1966) ●港湾合同庁舎完成
- 昭和42年(1967) ●動物検疫所開設 ●救急業務開始
- 昭和43年(1968) ●社会福祉事業条例制定 ●葬斎場完成
- 昭和44年(1969) ●小松島保育所完成 ●野外活動センター1完成
- 昭和45年(1970) ●金蔵1.5万トン岸壁完成
- 昭和46年(1971) ●横須海水浴場開設 ●立江寺本堂焼失 ●小松島2号1就緒 ●小松島郵便局新築完成
- 昭和47年(1972) ●市外3町村衛生組合設立
- 昭和48年(1973) ●しらす養殖完成 ●恩山寺自然公園完成
- 昭和49年(1974) ●赤石会館開設
- 昭和50年(1975) ●小松島中学校新体育館完成
- 昭和51年(1976) ●小松島中学校新体育館完成
- 昭和52年(1977) ●小松島中学校新体育館完成
- 昭和53年(1978) ●小松島中学校新体育館完成
- 昭和54年(1979) ●小松島中学校新体育館完成
- 昭和55年(1980) ●小松島中学校新体育館完成
- 昭和56年(1981) ●小松島中学校新体育館完成
- 昭和57年(1982) ●小松島中学校新体育館完成
- 昭和58年(1983) ●小松島中学校新体育館完成
- 昭和59年(1984) ●小松島中学校新体育館完成
- 昭和60年(1985) ●小松島中学校新体育館完成
- 昭和61年(1986) ●小松島中学校新体育館完成
- 昭和62年(1987) ●小松島中学校新体育館完成
- 昭和63年(1988) ●小松島中学校新体育館完成

# 夢の花咲く広場で

## 小松島ステーションパーク



「Komatushima Station Park」 is an urban park, built by making use of the site of the old Komatushima station; and it evokes nostalgia for the olden days when the station presented a lively scene. The park has five squares and a city library, where "Promenades" are connected in between. The world's largest bronze statue of a raccoon dog, which is 5 meters tall, in "Tanuki Hiroba" is a symbol of Komatushima city. On top of this, the city has "Shiokaze Koen" near Komatushima Port and "Hinomine Sancho Koen" which commands a fine view.

## 日ノ峰山頂公園



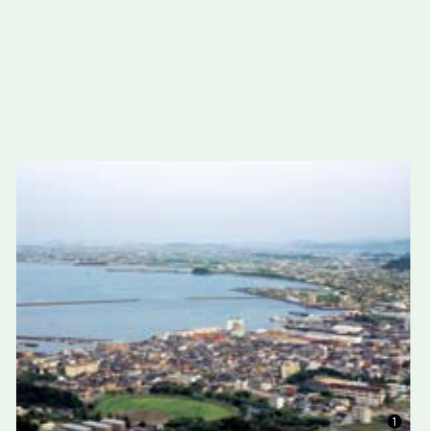
標高一九二m市の北端、徳島市の境にある日ノ峰山は、阿波三峯の一つ、山頂からの眺めはずばらしく、小松島市内を眼下に、小松島港を望み、鳴門海峡を経て和歌山地方を遠望でき、西は勝浦川の流れの見える、徳島市が見えます。山頂には日ノ峰神社があり、桜の名所としても知られ、ドライブに最適です。

## しおかぜ公園



平成十二年春小松島港口に「しおかぜ公園」が完成しました。「みなとに親しみを持たし、くつろぎのこころ」をテーマに、徳島県が整備を進めていた都市公園で、園内には、海のモニュメントや飛行機をイメージした遊具があり、多くの家族連れや若者達でにぎわっています。

Let's take pleasure in beautiful scenery of sea and mountains, and romanticism in history having an outing to "Yoshitsune Dream Road," where one can visit the course that Yoshitsune Minamoto had followed; a course of a trip to historic relics and places for enchanted beauty; and the miniaturized Eighty-eight Holy Places of Shikoku.



# ロマンをつなぐプロムナード

義経の足跡をたどる「義経ドリームロード」、「史跡・名勝めぐりコース」、「ミニ四国八十八カ所」など歩き方いろいろ。このまきで、心ときめく出会いが待っている。

昭和56年、ふるさと小松島市の史跡・旧跡・名勝地を顕彰し、本市の宝として長く後世に継承するため、市内19カ所に石碑を建立した。

- 名勝・日峯山
- 名勝・千代の松原
- 豊園神社
- 英国公使ハリーパークス上陸地
- 地蔵寺
- 五社大明神
- 藤樹寺
- 史跡・前山古墳
- 新居原城址
- 旗山
- 史跡・弁慶の岩屋
- 源義経上陸の地
- 四国霊場第18番札所恩山寺
- 史跡・弁天山砲台跡
- 阿波寺
- 現福寺
- ひさき
- 立江寺島の院・新四国八十八カ所
- 瀬戸八幡神社

# 小松島港 潮風の記憶



In the Meiji era steel vessels had gradually taken over the role of wooden vessels in marine transportation, and accordingly deep-water ports were required. In 1899 Komatushima Port was renovated, which made this city take the first step into a modern international port city.

A new port was constructed in 1934, and Komatushima Port was approved as a treaty port in 1948; it played an important role as a foreign trade port. After it was approved as an important port in 1951, Komatushima made rapid progress as a coastal industrial city, with its port facilities greatly improved and with manufacturing companies invited to set up their plants in the area.

The Komatushima Harbor facing the Osaka Bay Area is the economic engine of Komatushima City that drives the local industry. While striving to be eco-friendly as a public open space for residents, its improvement is to be promoted, installing an international multipurpose terminal that is equipped with gantry cranes and other facilities, and enables entries of large container vessels.



小松島港は四国東部の紀伊水道沿岸のほぼ中央に位置し、古くから四国屈指の天然の良港として栄えてきた。平安時代には中の湊と称され、勝浦川上流から切り出された木材が、水運を利用して小松島津に運ばれていました。藩政時代に入ると、藍商人たちの活躍により、小松島浦が急速に発達。明治になって次第に鉄船が増加したことで、明治三十一年(八十九)村営で小松島港の大改修を行い、近代的小松島市への第一歩を踏み出しました。やがて阪神との航路も開設され、小松島港が徳島港を凌いで県下の海上輸送の拠点となり、昭和九年(一九三四)には新港が完成、二十三年(一九四八)には開港場の指定を受け、外国貿易港としても大きな役割を果たすことになりました。二十六年(一九五二)に重要港湾に指定されると、港湾関連施設の整備も飛躍的に進展し、以後、船舶の大規模な大型化・エネルギー化・高速化に対応するため、本港地区・金磯地区に大型岸壁が次々と完成。同時に工場誘致や宅地造成が進み、小松島市は重要港湾を擁する臨海工業都市として着々と発展していきました。関西国際空港の開港、鳴門石海峽大橋の全通、さらには四国縦横自動車道の整備により、大阪湾・ベイエリアに臨む小松島市にとって、小松島港は産業経済発展の中核であり、小松島港に入ってくる外国船は年間約三〇〇隻、その大半がアメリカ・カナダ・ヨーロッパの原料となるチップを運んでくる船で、小松島港は日本有数の木材の輸入港として、徳島県における外貿の拠点となっています。本港地区においては、「みなとオアシス交流広場」や「しおかぜ公園」など多目的スペースを整備し、港湾を中心とした賑わいの創出や観光の拠点づくりを図っています。また、赤石地区においては、二万トン級岸壁(平成十八年完成)を中心にコテナ貨物に対応する大型コンテナ船の入港や効率的な荷役をきまめるためのガントリークレーン等を備えた多目的国際ターミナルの整備を推進し、今後東アジア貿易の玄関口として、市民に愛される港を目指します。

# 「港まち」

小松島港は古くから天然の良港として知られ、四国の東門、徳島県の玄関として重要な役割を担いながら、小松島市の発展を支えてきた。

# 演出

ふるさと小松島をもっと楽しく元気なまちにしようと、いろんな人々が立ち上がり、小松島ならではのユニークなまちづくりがあちこちで始まった。

## たぬきのまちづくり

日本全国に登場する民話は数多くありますが、その中でも特に有名なのが「阿波の狸合戦」です。この話は幕府時代の小松島で舞台にした民話で、話の真偽はともかく、この中に登場する染物屋の主人・茂右衛門は実在の人物。明治末期に大坂の講談が演題に取り入れて一世を風靡したことから、講談本と茂右衛門の直系の子孫・梅山家に残る言い伝えをもとに、昭和十三年「天下分け目の阿波たぬき合戦（新興キヌマ、後の大映）が映画化され、空前の大ヒットとなりました。



A famous folktale in Komatsushima, "Awa no tanuki gassen" was cinematized and it was a hit. The heroic character, a raccoon dog called "Kincho Danuki," has been loved by people as a God of flourishing business, and we are working on to form a community by making use of the raccoon dog, the symbol of the city.



## 花みずきの咲く風景



A tree-planting campaign for flowering dogwoods has been going on since 1976. The citizens' steady efforts have made the trees strike root deep and the lovely white and pink flowers bloom in the spring throughout the city.

## 心やすらぐ水辺で



Komatsushima City, which touches us, is also a riverside district enjoying plenty of water produced in the water system of Mt. Tsurugi. The banks of rivers running through the city center, and the beaches are places of recreation and relaxation for the citizens. Furthermore, the natural ground water is abundant here, and in daily life people have made use of the nice and pure water drawn from an artesian well. The fine water has been springing out, appeasing not only our thirst but also our feeling.

## 小松島名水物語

掘り抜き井戸のある風景



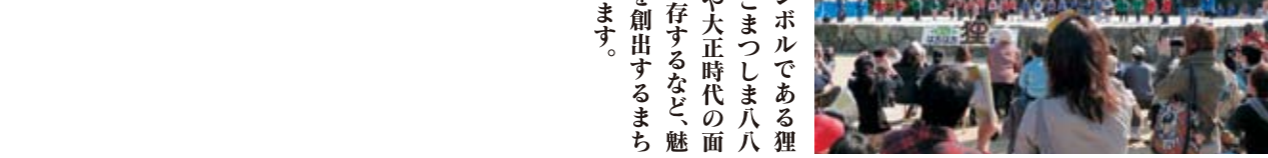
剣山系の豊富な地下水が、天然の浄化装置をくり抜かれ、小松島湾に注いでいます。小松島市は、まさに無数の水系の上に浮かぶ街。往古より、人々は掘り抜き井戸によってこの名水を日常生活に利用してきました。名水は人々の喉ばかりでなく、心を潤しながら、まろやかに湧き続けているのです。

## 医療・福祉が連携した街の再生!!



The revitalization project of the city center was launched, in order to regenerate and redevelop the area after the railway and passenger ships' routes to the center were closed. Among a variety of measures, high expectations are placed on the project through the promotion of the Tokushima Red Cross Hospital, the goal of which is to improve the standards of the welfare, educational and medical services and the employment rate comprehensively. Additionally, many events such as a festival featuring a raccoon dog, a symbol of the city, are being held to attract the people in and outside of the city.

## 人々の交流による賑わい創出のまちづくり



小松島市のシンボルである狸をコンセプトに「こまつしま八八狸まつり」の開催や大正時代の面影を残す町屋を保存するなど、魅力的でにぎわいを創出するまちづくりに努めています。

## 躍動

ふるさとを愛する市民一人ひとりの熱い思いが、まちのエネルギー! だれもがいきいきと暮らせるまち、笑顔が輝くまちに、本当の豊かさがあります。

## ボランティアの心

現在、小松島市では、七十団体約二千三百人(平成二十二年六月現在、小松島市社会福祉協議会把握数。個人ボランティア活動の一部でボランティア活動をしている団体含む)の市民が、ボランティアとして活動されています。さらに、毎年六月に実施されている「リフレッシュ瀬戸内(約千人が参加)や八月のチャリティ阿波踊り、町内会や学校などのボランティアを含めると、多くの市民がボランティア活動に参加していると言えるでしょう。



このようにボランティア活動に関心が高まる中、新しい活動を始める団体や、特技・経験を活かしたボランティアグループが誕生しています。地域福祉の分野では、十一小学校区ごとに、住民の有志や民生委員児童委員、婦人会員等が組織された地区社会福祉協議会が、従来の高齢者へのゆるやかな見守り等の福祉活動に加え、平成十七年より小学校児童の登下校時の見守り活動を開始し、犯罪の抑止力と



もに、児童との交流を深めています。また、絵本の読み聞かせの活動をするグループでは、乳幼児や保護者を対象とした「すきつぶ」や「キラキラ・キッズ」、高齢者施設で活動する「ハート・フル」、退職された女性校長で結成する「ウメノミーズ」等の他、保護者等が小学校で読み聞かせを行っています。小松島市国際交流協会は、既存事業に加えて、外国人のための生活者として役立つ日本語や慣習を体験する事業を始めました。徳島赤十字病院では、病院ボランティアが活躍し、訪れる人々に安心を与えています。



ボランティア活動を推進支援する小松島市社会福祉協議会は、創立五十周年を記念し、藤井克明会長が「本市は日本初の善意銀行発祥の地。この善意銀行の寄付文化の活性化と、今までのいたいた寄付金を活用して市民の新しい感覚で社会福祉を見直し、地域福祉に挑戦する機運を高める事業を」と、創立五十周年記念事業として、地域福祉の振興、地域課題の解決に取り組んでいるボランティアグループや市民活動団体が提案する十二事業に助成を行いました。福祉、教育、医療、国際交流：ボランティア活動は多様な分野や場所へ、多くの市民へと広がりをみせています。

## みんなでまちを守る

自治会を基盤とした自主防災組織が次々と結成され、「自分たちのまちは自分を守る」を言葉に、消火訓練をはじめ、炊き出し訓練や救命救急訓練など様々な防災活動を行っています。

Many citizens participate in the volunteer activities, some watching over the old people and children, others reading picture books for infants or teaching foreigners Japanese language and its customs. The volunteer groups were created one after another in the fields of welfare, education, medical service and international exchange, where participants apply and share their skills and experiences. This spread of volunteering promotes one of our values, "people-focused" which means "local development by/for the local people".

# 交流で広がる友情の輪

○本別町との友好の歴史  
明治三十年に、当時の徳島県那賀郡立江村(現在の小松島市)の人々が、村長の東條儀三郎を団長として、北海道十勝国中川郡本別町(現在の本別町勇足)に入植し、冬には氷点下三十度以上にもなる極寒の北の地で、うっそうとした原始林を切り開き、その苦勞のうえに、現在の本別町の礎を築きました。



## 児童の交流

友好都市宣言の締結よりも前の平成二年十二月から、小松島市立立江小学校と本別町立勇足小学校の間で、児童やその保護者を中心に、文通や学校紹介のビデオレター、郷土絵画の交換による学習交流が行われています。



両校は、平成五年十二月に姉妹校の締結を行い、今日まで交流を続けています。今後も市内の他の学校も、この交流に参加し、「友情の輪」が大きくなるような取組みを進めていきます。

## 住民の交流

立江小学校と勇足小学校との交流をきっかけにして、今までに市民・町民相互の交流も、様々な分野で幅広く続けられています。小松島市の「港まつり」や「うまいもん祭り」、本別町の「きらみきツアージュ」などのお祭りや各種イベントにおいては、それぞれのまちの新鮮な特産品のPRと販売を行い、多くの人々に親しまれています。また、多くの市民・町民が両市町を訪れ、経済や文化、観光資源や産業を通して交流を深めています。

## 「小松島市の発展のための交流」

そのほかに、両市町は職員の交流研修を実施し、この十年間で小松島市からは五人の職員を派遣し、本別町からは七人の職員を迎えて、両市町間の友好関係の発展や、市民・団体交流のための橋渡しを担っています。



今後も、相互の友好関係を深めるのはもちろんのこと、交流を通じて小松島市の歴史や文化、魅力ある観光資源をPRするための環境づくりや情報発信を積極的に進めながら、本別町との交流を続けていきます。

# ふるさとの詩

受け継がれるもの、変わりゆくもの



## はも

小松島は全国でも有数の漁獲高を誇り、湯引きをするときれいに花が咲く夏の味覚として欠かせない食材です。カルシウム、タンパク質、ビタミン等が豊富で、夏バテにも効きます。



## ちくわ

小松島といえばちくわ。とれたての小鱼を練り、竹に巻き付けて焼いた焼きちくわは、義経もその芳香と美味を絶賛したと伝えられる風味豊かな伝統の味。酒の肴や副食に最適です。



## ちりめん

紀伊水道の美しい海でとれたチリメン(いわしの稚魚)をすばやくボイルし、天日で乾燥させた逸品。醤油とスタチをかけてそのまま、または大根下ろしといっしょに食べるとおいしい。



## 菌床シイタケ

菌床とは、オガクズなどに栄養源を混ぜて固めたブロック状の培地のこと。現在、小松島市は県内で最大の出荷量を誇っており、肉厚のものをホイル焼きやバター焼きでどうぞ。



## 阿波牛

各種品評会で優秀賞を受賞。高品質の高級和牛として全国に知られています。一頭大切に育てられた阿和牛の生命はサンのロースといわれ、赤と白のコントラストが美しい霜降り肉のやわらかさとおいしさは格別。



## キュウリ

豊富な地下水と温暖な気候はキュウリの生育に最適。福の前作として導入されたキュウリ栽培ですが、昭和45年頃からほぼ一年中栽培されるようになり、県下屈指の主産地を形成しています。



## ミカン

温州みかんを中心に、日当たりや水はけのよい山の斜面で多く栽培されている。甘味は最高、出荷量は10～12月。



## スタチ

徳島県を代表する特産品の一つ。東洋のレモンともいわれ、料理の味を一段と引き立てる名脇役。しばり汁を焼魚・フライに、皮をおろして冷や奴に、輪切りを飲み物に浮かべて…などいろいろな風味が楽しめます。



## イチゴ

市内平野部に広がるハウスでは、12月から5月頃までおいしいイチゴが栽培されています。「女峰」「豊の香」などの人気ブランドも登場し、全国にその名を馳せています。

## 小松島の特産品



## 漁港の風景

天然の良港を擁する小松島市は、漁業も古くから盛んで、エビ、イワシ、ボラ・コノシロ・イカ・アジなどが水揚げされる他、干しエビ・ちくわ・かまぼこなどの水産加工品は、小松島市を代表する特産品となっています。沿岸では、わかめの養殖も行われています。



## 花火の製造

立江寺の門前町・立江町には、特色ある産業として、立江八幡神社の祭礼儀式から発達した花火製造が受け継がれています。かつては各地の氏神の祭礼に素人細工の花火が奉納されていましたが、中でも立江八幡神社の花火が最も有名で、大勢の見物客で賑わっていました。



## ちりめんの天日干し

漁獲後にボイルされたちりめんじゃこ(いわしの稚魚)は、海岸の広場で天日干しされます。真っ白いちりめんが敷き詰められた風景は、まるで雪が降ったよう。ボイルした柔らかいもも、半乾燥、乾燥したもののそれぞれ「阿波ちりめん」として食卓に潮の香りを運んでいます。

## 小松島の製品



## 襖の心材

色目の美しさ、加工のしやすさなどが特徴で日本を代表する針葉樹である徳島産のスギを使用し、製品を製造しています。



## 国産針葉樹合板

私たちにとって、生まれ育った故郷の気候が体に合うように、木も育った地域の気候が一番慣れ親しんでいます。この国産の針葉樹を木材として加工し、製品づくりをしています。



## 歯科技工物

物を噛める喜びと口元の美しさを提供するをを目指して、入れ歯や差し歯などの歯科技工物の制作・研究・開発を行っています。



## 合板・建築内装材

収納等の住宅機器、建築内装材や家具・建具用的高級プリント合板。その他建築構造材など、木のぬくもりを大切にした製品づくりを行っています。



## 産業用機械

地球環境への負荷低減をテーマとして、リサイクルプラントから環境・リサイクル機器や油圧技術を活かした産業用プレス、また自動省力化装置など特色ある各種産業用機械を製造しています。



## すだち生酢・ゆず生酢

徳島を代表するすだち・ゆずを使用し、添加物を一切含まず、加熱殺菌など何も手を加えず、製品を造っています。

# 四季のきらめきと歓び

イベント・祭り



## 彩りの秋

秋祭りの宮ひともきたつ鼓は、天住社の龍聖三番度、龍聖八幡神社祭りのゆふさめなど伝統的な行事が続く。

- 立江祇園祭 (9月・立江町八幡神社)
- 元根花火大会 (9月・天根井漁港)
- 徳洲八幡神社例祭 (9月・徳洲八幡神社)
- 徳洲火火大会 (10月・徳洲海岸)
- 天狗しばき (10月・立江町秋葉神社)
- 龍見三番度 (10月・田野町天王社)



## 咲き誇る春

春になると、自然公園でもある郡山寺の裏山は、美しいピンクに染まり、大勢の花見客が訪れる。やがて全長神社では、誰が主役の楽しい春祭りの準備が始まる。

- 郡山寺自然公園桜まつり (4月・郡山寺)
- ウォークラリー (4月・日輪公園一帯)
- 全長神社例祭 (5月・全長神社周辺)



## 冬のやさしさ

比較的温暖といえる冬の、また風の冷たい2月。かつて新義経の小松島市に上陸したのと同じ時期に、義経や弁慶が走り回り、道々をたどる。

- 義経夢祭 (2月・芝生町旗山)
- 立江地蔵市・徳島市 (2月・立江寺)



## 鮮やかに夏

前記が昭和9年の新築完成を祝ったのが「夏まつり」の始まり。以来、夏の日にちなんで毎年海の日にその前日の2日間開催され、道々を走り一色に染まる。

- やまもも祭り (6月・徳洲町)
- 小松島祇園祭 (7月・松島町八幡神社)
- 小松島港まつり (7月海の日にその前日・新港周辺)

# 文化財一覽

古代より荘園が隆々、海陸交通の要衝として栄えてきた小松島は、古くから大坂・神戸、和歌山など近畿圏との結びつきが強く、貴重な文化財が数多く残されている。

- 絹本着色秋道二尊像 (立江寺・国指定重要文化財)
- 大般若経巻第四八五 (西野家所蔵・国指定重要文化財)
- 紙本墨書仲文書残巻 (西野家所蔵・国指定重要文化財)
- 契経所蔵文書 (西野家所蔵・国指定重要文化財)
- 紙本水墨雲龍図 (多田家所蔵・国指定重要文化財)
- 木造阿弥陀如来立像 (舟橋寺・県指定文化財)
- 観音菩薩像の鞍と鐘 (多田家所蔵・県指定文化財)
- 絹本着色桃花孔雀雄・西王母・牡丹孔雀雌図 (西野家所蔵・県指定文化財)
- 木造薬師如来坐像 (現瑞寺・県指定文化財)
- 法華経 (柱杖寺所蔵・県指定文化財)
- 地蔵寺玄關および書院 (県指定文化財建造物)
- 金機のアノコ (金機町・県指定天然記念物)
- 桐洞のフワ (桐洞神社・県指定天然記念物)
- 弁慶の岩屋 (徳洲八幡神社・県指定天然記念物)
- 恩山寺ヒシジユ (恩山寺・県指定天然記念物)
- たたら踏み (田浦町・県指定文化財)
- 天王社柱礎三番度 (田野町・県指定文化財)

Komatsushima City is known for its fish sausage, bayberry, muraenosax cinereus and shitake mushroom. According to the legend, Minamoto no Yoshitsune, a 12th century tragic hero, is said to have praised the flavor of its fish sausage. The fishery yield of muraenosax cinereus in the city has been one of the largest in Japan. A variety of industrial products such as worked timbers, industrial machines are also manufactured in the city.